



自転車仲間と公園内を回り、コース案について意見交換する山本さん（右から2人目）

MTBコース設計着手

山本幸平さん
幕別で監修

複数計画、来春着工へ

【幕別】マウンテンバイク（MTB）で五輪に2大会連続で出場した町出身の山本幸平さん（29）
|| SPECIALIZED | 国際アウトドア専門学校、帯広農業高
出||が7日、自転車仲間7人とともに「明野ヶ丘公園」（町明野496他）を訪れ、自身の監修で町が整備を計画しているMTBコースの設計作業に着手した。

山本さんは「自転車に興味を持つ人を増やすためには環境を整えることが重要」と、自身が高校時代から練習場の一つとして使っていた同公園でMTBコース整備を計画、7月に岡田和夫町長に要請し快諾を得た。町は整備に当たって山本さんにコースの監修を依頼し、担当者で現場を視察

していた。

今回は山本さんが「実際にコース設計する上で、MTB愛好者の声も聞きたい」とフェイスブックで仲間呼び掛け、知床方面や宗谷管内浜頓別、音更などから愛好者が駆け付けた。町担当者が立ち会いのもと、山本さんらはMTBに乗って何度も公園内を走り、コース案を練った。

「以前モトクロスコースだった場所は今の状態では雨の後はぬかるみやすい。硬質土を敷き詰めたい」「散策者やパークゴルフ愛好者の安全面を考え、看板はかなりの箇所に設置が必要」「斜面部分などにはコースであることを示す印を」などの意見が出た。

現計画では、初心者や中級、上級などレベルに応じた複数のコースを造る。来春にも実際の工事などを行うほか、自転車や同コースに関心を持ってもらうために一般希望者も作業に関わるワークショップを予定している。

山本さんは「北海道一を決める自転車大会の開催も打診されており、コースへの関心は高い。安全面に配慮しつつ、幅広いレベルに対応できるコースをみんなの力で仕上げたい」と意気込んでいる。

同公園は町管理の総合公園。1983年に供用を始めた。面積は20・3畝。展望施設「ピラ・リ」などがある。（佐藤いづみ）